

令和2年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和2年度 第3回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和3年3月12日 午後1時30分から午後3時18分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	濱野委員、初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、小田委員、鈴木(研)委員、小笠原委員、鈴木(健)委員、黒澤委員
5	市側出席者	山下文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、松下主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人
8	会議概要作成年月日	令和3年3月18日

○会議の概要

- 1 開会 (奈良澤係長)
- 2 あいさつ (山下文化課長)
- 3 協議事項
 - (1) 令和3年度 安曇野市図書館事業計画(案)について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉会 (奈良澤係長)

3 協議事項概要

- (1) 令和3年度 安曇野市図書館事業計画(案)について

議 長 議事に入る。事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 この件について事前に質問事項を受けているので、事務局より回答をお願いしたい。

事務局 基本理念について第2次安曇野市図書館基本計画のものと違っているという指摘をいただいた。接続詞に間違いがあったので訂正させていただく。

基本理念と推進事業の整合性について質問をいただいた。基本理念は、図書館基本計画から持って来ており、推進事業は当該年度に重点的に行う事業を示したものである。基本方針の各項目に目標を設定した推進事業とし、実施事業の指標とした方が良いという意見もいただいているが、現段階では方針に沿った計画がなされていると判断し、事業計画書の形式の見直しなどは今後時間をかけて検討させていただきたい。

基本計画の1項に図書館法に記載されている収集と言う語が入っていない、また、推進事業の項目では収集の語はあるが提供と言う語が入っていないと指摘をいただいた。基本計画の収集は提供への一連の流れとしてお汲み取りいただきたい。なお、推進事業の項については提供を加筆させていただく。

基本方針と推進事業の関連性で、方針5の本市の歴史と文化の継承が反映されていないのではないかと指摘であるが、推進事業に無いから実施をしないということは無いが、加えた方が良くという意見なので修正させていただく。

同じく基本方針5の関係で、市の機関、教育委員会の所管する美術館や博物館と連携した事業の記載がないという意見をいただいた。連携事業としてはおでかけ図書館や企画展示があり、文書館の講演会や公民館の講座の折に図書の展示や貸し出しを行っている。館内の企画展示では、市のイベントに合わせた関連本の展示やポスター、チラシを置くことで集客に努めた。その他にも当館展示ギャラリーでの企画展に合わせた館内展示や中学校の調べ物学習の成果物の展示なども行った。また、郷土巡回展示連動企画講演会や博物館のコンパクト展示を図書館事業に合わせて展示するなど、特別な記載は無いが積極的に連携をしていきたいと考えている。

市の様々な部署、機関との具体的な連携について質問をいただいた。これは随時の対応になっているが、現在の計画では、農林部耕地林務課、さとぶろとの連携企画として安曇野積み木キャラバン事業が予定されている。さとぶろから今年、くくじいとあかまつ 安曇野里山物語という絵本や紙芝居が、市内小中学校や認定こども園、公共図書館に寄贈されるということで、この絵本や紙芝居の内容を多くの方に伝え、松枯れなどをとおして里山への関心を高めたいというものである。このように各部署からの企画協力依頼は随時あり、様々な連携先と様々な方法で基本理念につながるような成果を実現していきたい。

推進事業の7項、子どもの読書活動に関わる活動支援の質問をいただいた。連携先としては、市内の認定こども園、小中学校、高校が全て対象になる。各団体への配本が随時行われている他、ボランティアグループ向け講演会への参加を呼びかけ、保育士のスキルアップにつながるよう考えている。

推進事業の8に関わるということで、今後のコロナ禍の見通しと対応について質問をいただいた。図書の除菌、イベント参加カードの記入、閲覧席の除菌、ソーシャルディスタンスを考慮した閲覧席の配置、マスクの着用、手指消毒の推奨などは現状維持でいきたい。春休みになり感染拡大の予測もあるので気を引き締めて対応していきたい。

読書通帳の有効活用についてご意見をいただいている。読書通帳の最後のページに、100冊到達し

た時に記入していただく一番心に残った本、誰かにお薦めしたい本というのがあるが、このページをコピーし整理したものが閲覧可能な状態で館内に置いてある。また、秋の読書週間では、この情報を基に館内展示を行っている。この他に活用方法など提案があればお願いしたい。

信州山の日共同企画展示について、連携先を広げた方が良いのではないかと意見をいただいた。この企画自体は、図書館で所蔵している本で山に関係する本を展示するものになる。信州山の日に合わせた企画があれば、何か連携することも考えられる。

実施事業に追加した方が良い項目として、本のテイクアウトとZOOM活用をあげていただいた。本のテイクアウトは、令和3年度も継続していく予定であるので、追加させていただく。ZOOM活用については、今後のコロナの感染拡大の状況などで、コロナの感染拡大防止対策の一つの手段として考えていきたいので、現段階での事業項目としては考えていない。

コロナに関する記載が無いという指摘をいただいた。コロナに負けない図書館ということで、イベントなども感染拡大に備えた対応を考えている。イベントを中止にするということではなく、形を変えて実施していくという方向で対応していく。

図書館の危機管理マニュアルにコロナの方針も入れた方が良いのではないかとという提案をいただいた。コロナ対策については、市の新型コロナウイルス感染対策本部の対応マニュアルや全国図書館協会から2月26日付け改訂版で出されている図書館に於ける新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインがあり、随時改定されている状況なので落ち着いた段階で危機管理マニュアルに盛り込むかどうかを含めて検討させていただきたい。

事業計画全般について、市民が日常的に現実感を持って参加できる環境づくりの音頭取りだとか、図書館が発起組織として企画推進していけるように、教育委員会文化課で扱う組織や手法を生かすことを検討してほしい。それから、安曇野の自然を生かしたフィールドワークの場の演出、エコミュージアム的な活動などいろいろと提案をいただいた。図書館が目指すべきものを助言いただいたということで、企画をする参考とさせていただく。また、6月に開催を予定しているワークショップ等で図書館の在り方についてディスカッションできればと思っているので、委員の皆様にもご協力をいただきたい。

令和3年度の事業計画の部分について事前に出された質問等については、以上で回答とさせていただきます。

議長 この件に関してさらに質問があればお願いしたい。

委員 今回の資料には回答部分の記載が無いが、何か意図があるのか。記載があった方が分かりやすいと思うが。

事務局 一言で書けるようなものは記載したが、回答が長文になるので口頭での説明が良いと判断させていただいた。分かりにくいところがあれば、個人的にご質問いただきたい。

議長 他にありますか。

委員 中央図書館で購入すべき基本図書のリストを求められたので、2回に分けて38冊出した。この対処について伺いたい。

議長 前回の協議会で事務局より求められたリストを提出したということで、その取扱いについての回答をお願いしたい。

事務局 協議事項のその他の項での回答を準備していた。選書が終了している分があるが、この場での説明は難しいので協議会終了後に直接説明させていただく。

議長 よろしいか。

委員 回答は後でということでした。その関連で、前回、選書は毎週1回各図書館毎に行っている、そして、月1回全体会議があると説明を受けたが、選書をする場合のプロセスを聞かせていただきたい。業者から提供される資料等があると思うが、その他に、主要新聞の書評欄、書店などチェックされているのか。今、どんな本が販売されていて、その内容がどうなのかというように、実際に手に取って判断するということが非常に重要だと思う。

議長 委員からの意見は大切なことだと思うが、その他の項で話し合うことなので、ここでは安曇野市図書館事業計画のことについて他にありますか。

委員 山の日についての企画で、他施設との連携は難しいという説明だったが、すぐにできないとすれば、例えば安曇野には実際に沢山山に登っている方や登山ガイドをしている方がいるので、その方に体験談を語ってもらう、そして、図書館に関連した本を展示するという事は可能じゃないか。

議長 山の日についての連携企画ということで、事務局からお願いしたい。

事務局 信州山の日との連携企画について先ほど回答させていただいた。山岳博物館の学芸員より豊科・堀金で講演いただくが、経験者としての話を聞くことも必要だと思うので、企画をするときに考えていきたい。

議長 地元で山に登っている方は多く居るので、実際に話を聞くというのは良い機会であり良い提案ではないか。

他に質問等あれば。

委員 会議の進め方に関してだが、事前に提出した質問等に対して回答部分が記載されているとこの場で具体的な議論ができると思う。長文でなくて短文で良いので、ここでの議論ができやすいようにお願いしたい。

私はここの音響が悪くて聞き取りにくいので、回答に相当するものを記載していただきたい。

関連したテーマに図書館だけでなくいろいろな組織や個人に関わってもらい、底辺を広げて取り組んでいけたら住民にとってリアリティのある行事が増えて良いのではないかと検討をいただきたい。

議長 質問に対する回答を文章化してほしいということで、先ほど事務局から回答があったが今一度お願いしたい。

事務局 この環境もコロナ対策で聞き取りにくくなっていて申し訳なく思う。

前回の図書館協議会で回答を記載した資料としたところ、時間の関係があったこともあり説明時間が十分とれず、事務局の意を汲んでいただけたか不安が残ったので、今回はこのような形をとらせていただいたが、聞き取りにくいというような事情もあるので考えさせていただく。

他部署との連携については、課内では豊科郷土博物館、義民館、文書館と中央図書館で4館館長会を開催しており、展示の関係やホームページの関係で連携を話し合っている。

議長 よろしいか。

委員 地域活性化推進のアイデアの一つとして、1年前の協議会で住民の知恵の交流会ということをご提案した。生活の知恵を引き出す場であったり、そこに子ども達に興味を持ってもらうなど図書館は潜在力を持っているので取り組んでほしい。

議長 他との連携によって図書館に有る機能をさらに充実させてほしいということでよろしいか。

他には。

委員 基本方針、推進事業、基本理念が出されているが、作成の仕組みについて伺いたい。基本的な方針と理念はどのように策定されているか。

議長 事務局からお願いしたい。

事務局 基本理念、基本方針は第2次安曇野市図書館基本計画そのものの策定であり、平成30年に策定されている。いろいろなアンケート等も取り、図書館協議会にかけ、パブリックコメントでも意見をいただき策定されている。

議長 よろしいか。

委員 大きな計画に基づいて策定されているということで、司書や館長が集まって計画したということではないのか。

議長 事務局の方でお願いしたい。

事務局 令和3年度の事業計画は、第2次安曇野市図書館基本計画を基に、図書館係で重点的な事業等大筋のラインを示し、月1回の館長会に提示して各館で方針をたてたものを持ち寄り、擦り合わせを行う中で策定している。細かな事業内容については、さらに各館で館長と司書が相談して決めていく

という形をとっている。

議長 いかがか。

委員 補足だが、図書館の事業を本当に豊かに発展させるためには、利用者の要望等を受け止めている図書館員の意見を吸い上げるような形で、事業の方針を決めていくように要望する。

議長 図書館司書の意見を吸い上げた事業計画にしてほしいということによろしいか。

委員 そういうことも含んでほしい。

議長 図書館業務のスタッフの意見を含めて、計画を立案してほしいということによろしいか。

委員 そういう希望を持っている。擦り合わせた形でできればよい。図書館員の工夫で各館独自の活動ができるようになれば、図書館サービスもやりがいがあり、図書館自体も豊かなものになるのではないかと考えている。

議長 スタッフからの意見を吸い上げてほしいということと、基本理念は市の基本計画によっているということによろしいか。

他にあれば。

委員 推進事業の（１）に電子書籍などの導入を検討するとあるが、具体的なイメージをお聞かせ願いたい。千代田区には千代田Web図書館というものがあり、非常に利便性の高いものになっているので、そのような大きな構想を持って電子書籍導入の検討をしてほしい。

議長 電子書籍導入がどういうレベルにあるということか。事務局よりお願いしたい。

事務局 スマホ或いはタブレットで電子化されたものを見るということだが、コロナ禍で図書館資料の提供手段として大変注目されており、県レベルでも検討されている。県では、県で一括契約して各自治体では負担金を払い参加することにより、参加した自治体図書館の利用者が利用できるという仕組みを考えて、検討を始めたところである。この話は、導入の経費が高額で単独では導入できないところから始まっている。県内で導入しているのは高森町である。安曇野市ではこれから検討を進め、令和5年度くらいを目標に方向性を出していきたいと思う。

電子書籍が高額であり冊数も少ないこと、新刊本が出にくい、などの要素があるので使い分けをしていくのが良いのではないかなどの議論がされている。安曇野市は、例えばギガスクール事業での活用とか、市民の利便性の向上ということでDX戦略に組めないかなど、そんな話を始めるタイミングになってきている。財政が厳しい中であるので、慎重に検討していきたい。

議長 電子書籍の利便性は目を見張るものがあるが、令和5年ということはまだまだ時間がかかる。

他にはいかがか。

委員 千代田Web図書館では、現状の問題点や課題について検討をしているので、先進事例に学び

早く推進していただきたい。

議長 今の意見を生かし、積極的に進めていただきたい。

この件についてはよろしいか。

委員 安曇野市のこれからの図書館について考えていこうという項目だが、理想の図書館とそれに向けてどんなことをやっていけば良いかということ話し合う場だと思うので、とても良い事業だと思っている。職員ワークショップもやるということだが、いろいろなメンバーを検討し、結論を急がず、継続的に開催して議論を積み上げて育ててほしい。

議長 はい。

委員 関連だが、進めていくうえで勉強会を開催してほしい。

議長 事務局の方で、勉強会の要望が出ているので対応をお願いしたい。

この件については以上で終了とさせていただきます。

(2) その他

議長 つづいてその他に移る。まず令和3年度図書館事業計画案以外で、事前に提出された質問や意見に対する回答を事務局よりお願いしたい。

事務局 会議について、時間が無いので、前年度の反省がどのように反映されたかという報告と、計画では特にアピールしたいところや議論したいところの説明のみで良いのではないかと提案をいただいた。今回からは難しいが、館長の説明はそのようにした。前年度事業に対する意見は、出版社に出すカードの活用、フェスタの在り方、リサイクル本の配布方法、広報活動についてなど提案や意見をいただいた。出版社へ出すカードの活用については、本に挟んでの利用は管理が難しいということで回答させていただいた。図書館フェスタについては、コロナ禍でも分散してできるのではないかとということで、9月に各館で同時開催することとした。本のリサイクルについても、フェスタに付ける形ではあるが、今回のリサイクルフェアの教訓を生かして日程を組ませていただいた。

次のリサイクルフェアについては、後程担当より説明させていただく。

広報活動については、今年ツイッターへの掲載を強化し、だいたい1週間に1回のペースで行った。ホームページも少しずつ改良しリニューアルを行った。まだリンクがうまくいっていない部分もあるが、PRに繋げていきたい。あと、お出かけ図書館で外部に出たときも、積極的にPRしていきたい。

事務局 リサイクルフェアの結果報告をさせていただく。例年、図書館フェスタの中でリサイクルフェアを開催していたが、今年度はコロナ禍もあり、1月19日から1月31日の間実施した。今回は今までと違い各館開催とした。リサイクルではけた本の冊数を報告させていただく。中央図書館は、6,090冊の内5,029冊、豊科図書館は、3,892冊の内3,539冊、三郷図書館は、1,340冊の内1,107冊、明科図

書館は、1,651冊の内1,343冊となった。各館とも出したリサイクル本の8割を持ち帰っていただいたことになる。全体の振り返りとして、各館で開催することで混雑も無く落ち着いた環境で実施できたのではないかと、児童書や絵本など需要が高く最終日まで残るように調整するのが大変だった、実施期間は丁度良かったのではないかと、分館では少し長かったかもしれない、などの意見があった。来年度はこのような反省を踏まえて計画していきたいと考えている。

事務局 今回のリサイクルフェアは、中央図書館で活動していただいているサポーターの方たちに、お力添えをいただきとても良かったと思うので、これを踏まえ細部を考えていきたい。

ホームページの図書館協議会のページからのリンク先が間違っている旨指摘をいただいたので、変更をさせていただいた。

議長 事前に出していただいたその他の内容について、事務局から説明があったがこの他に全般について何かあったらお願いしたい。

事務局 先ほどの質問について説明をさせていただきたいがよろしいか。

議長 お願いしたい。

事務局 選書についてであるが、業者から毎週出されている資料の中から、以前にお配りした資料収集のガイドラインに従って選書を行っている。また、書店については、外渉担当が回ってくるということと、司書も書店に出向き本を手にして確認するなど行っている。なお、それぞれ司書には担当する分野があり、書籍の状況、市内各館及び近隣公共図書館の保有状況などを見て、特に高額な本や専門書の類については相互貸借も念頭に購入を検討している。このような形で、各選書会に諮り、最終的には月1回の全体選書会で購入を決定していくことになる。

議長 よろしいか。

委員 今の説明では書評について触れられていないが、いかがか。

議長 事務局からお願いしたい。

事務局 新聞の書評や広告なども見させていただいている。

議長 各新聞にある書評ということでよろしいか。

他にはいかがか。

委員 前出の委員からのリストで、図書館に無い本があるということは、選書の観点が違うと思うので、選書の違いを具体的に示していった方が良いのではないかと。最近はハウトゥー本が多くなってきているが、本の質とか長い間皆に読まれる本というような観点が必要だと思うので、選書に反映するよう要望したい。

委員 関連してよろしいか。ホームページで蔵書検索を行うと、最近購入した本にハウトゥー本が多

いが、10年、20年先を見据えて、代表的な内容のある本を充実させていくという観点が大それたと思う。特に、経済学、政治学のところの棚は空いている。文学書のところが多いが、選書は、長く読み続けられている本やこれからそうなるであろう本という見識を持って行ってほしい。

議 長 今の意見は、限られた予算の中で市民のために本をどう選んでいくのかという重要な問題の投げかけだと思う。書籍の購入にあたっては、いろいろな視点で選定してほしいという要望でよろしいか。

それでは時間も迫ってきているので、その他の項目についてはこれでよろしいか。これで終了とさせていただきます。

以上で本日予定した内容については全て終了したので、協議事項について閉じさせていただきます。

以上